



# 福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

## 梅の季節になりました。

中庭の紅梅も美しく咲き、各地から梅の便りが届く時期となりました。少しずつ、春の気配を感じるようになりましたが、卒業や進級も近づいてきました。

今月は、2年生はふくい郵便局(2/5~2/12)、3年生は福祉委員会のみなさんをゲストティーチャーとして招いて地域の歴史や昔の遊び・生活を学ぶ地域学習(2/13、2/20)、大阪府珠算教育連合会の方を招いたそろばん教室(2/22)、

4年生は、保護者や地域のみなさん、市役所の方々に来ていただき「二分の一成入式(2/21)」やそれに向けて「子育てサロン(2/14)」を、5年生は(株)ダスキンとの協力で「お掃除教室(2/14)」など、普段とは少し異なった形の学習をしています。

そして、6年生は北中学校で授業や部活を体験(2/8)し、1年生は新1年生の体験入学(2/7)で「遊びのお店」を開きました。



お掃除教室(5年)



子育てサロン(4年)

### 児童の安全確保ために

校門を閉めておくことや、校内に入る際の名札の着用は、不審者の侵入を防ぐための大きな抑止力になることが明らかになっています。

不審者を寄せつけないために、子どもの安全を確保するために、今後も名札の着用を引き続きお願いします。

21日(木)22日(金)は今年度最後の参観懇談です。名札を必ずご用意ください。

(三年生作文ノートから)

わくわくがんばれお話し会

わたしは、お話し会でAさんとBさんをおうえんしていました。ぶたいのうえでれんしゅうをしたとき、ふたりはなにも言えてなかったのをおうえんしていました。それでAさんとBさんは、きいていたらすぐじょうずに言っていました。それでAさんがれんしゅうしているのを聞いていたら、Aさんの作文をおぼえてしまいました。それでAさんがつまった時には、口ばくでいっしょうけんめいおしえてあげました。ほんばんの時は、AさんBさんがしつかり言えてたからわたしもうれしかったです。あとようち園の友だちがいました。二人ともがんばったね。



(二年生のあのねちょうから)

今日はお母さんのたんじょう日でした。カードに手紙を書いてわたしました。書いたことは、「おたんじょう日おめでとう。いつもいろいろなことをしてくれてありがとう。お母さんのこと大好きだよ。これからもよろしくね。」と書きました。お母さんはとてもよろこんでくれました。つぎのお母さんのたんじょう日は、もっともっと思わせてあげたいと思いました。

今日やっとおこのはん画がおわりました。わたしは、ちょっとおそかったです。図工は、すぎですがうまくいきません。一年生の時も紙ねんどでいっばいしっばいしていました。そして作る時です。さいしょは、下絵をかくて楽しかったです。けどここからいやなことが広がっていきます。切るのはいっばいするし、体は小さい。わたしは、思いました。「なんでうまくいかないだろう。」  
顔はうまくできましたがおこの下があいていたので雲を切りました。その時二月十五日の昼休みでした。もう時間がなかったので、ほうか後に雲をはりました。よこの方がさびしかったのでかみなりをつけました。これで長かった工作もおわりました。楽しいこともつかった時もありました。けどがんばっただけいい作ひんができてうれしかったです。

### 5年生は識字について学びました。

(感想)

・今生活の中にかかせない字や言葉を読めない人やしゃべれない人が世界中に何人もいないことを知らない人に伝えたいし、考えてほしい。自分が今字を読んでかけることは、本当にしあわせなんだと思いました。字を読めない人、書けない人に字を教えたいと思った。

・前までぼくは、学校に字の読み書きができない人がいたら「え、読めんの?」とか言っていたと思います。でも、今日の授業でがんばっている字の読めない人のことを知りました。表だけで判断するのではなく、全てのことを理解して人を見ていきたいです。ぼくも今、6年生の漢字は読めません。それと同じです。自分だけで生きているのではないことを忘れずに、生きていきたいです。